

大牟田市立白光中学校

1 本校のESDの特徴

本校では、総合的な学習の時間（白光タイム）を中心に、全教科、領域において、横断的・総合的にESDに取り組んでいる。主に福祉や世界遺産、キャリア教育（生き方、いのち、進路）などについて学習している。

白光中学校版SDGsは、「3すべての人に健康と福祉を」「4質の高い教育をみんなに」「11住み続けられるまちづくりを」「17パートナーシップで目標を達成しよう」の4つを目標とし、重点的に取り組んでいる。また、これらの目標の達成を目指すだけでなく、他の目標へのつながりも考えている。

このような学習を積み上げることにより、ESDで育みたい基本的な能力・態度である批判的に考える力、未来像を予測して計画を立てる力、多面的・総合的に考える力、コミュニケーション能力、他者と協力する態度、つながりを尊重する態度、進んで参加する態度の育成をめざしている。さらに、誰もが住みよいまちづくりを担う生徒、世界や次世代のことまでを見通して考えることのできる生徒を育てている。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

学年等	主なテーマ		
	世界遺産学習	福祉学習	キャリア学習
1年		5月 認知症絵本教室（20時間） 11月 介護体験学習（22時間）	
2年	11月 世界遺産学習（22時間） 京都の世界遺産（18時間）		5月 職場体験学習（24時間）
3年		11月 保育体験学習（25時間）	5月 上級学校訪問（19時間） 進路学習（21時間）
部活動等	5月・・・それいゆ祭（こもれび） 8月・・・（明治校区ふれあい祭） 9月・・・認知症SOSネットワーク模擬訓練 11月・・・手鎌地区文化祭 1月・・・ユネスコスクール子どもサミット		

3 特徴的な活動事項

第1学年 介護体験学習（11月実施）

〈目標〉 福祉学習を主とした取組を通して、様々な人や地域との関わりについて考える。

〈実践の展開〉

- 「介護体験学習」のねらいと意義を考える。
- 介護の仕事内容について説明を聞く。
- 視覚、聴覚障がいの疑似体験、車いす体験をする。
- まとめの報告・発表会をする。

〈生徒たちの様子〉

介護体験では、障がいや高齢者の疑似体験をすることで、自分たちにできることは何だろうと深く考えることができた。体験したことや感じたことなどをわかりやすく発表し、生徒同士が学び合



うことで、共生の大切さを理解することができた。

第2学年 世界遺産学習（11月実施）

〈目標〉世界遺産学習とキャリア教育を主とした取組を通して、様々な人や地域との関わり、自分の生き方について考える。

〈実践の展開〉

- 世界遺産とは何かを考える。
- 世界遺産を通してまちづくりをする大牟田の取組を学ぶ。
- 有明高等専門学校の先生による講話を聞いて、大牟田市の現状と課題を見出す。

〈生徒たちの様子〉

石炭の成り立ちや、三池港と閘門が大変高度な技術の結晶であったことを分かりやすく学習することができた。また、三池港の建設は團琢磨氏が抱いた未来へ通じる構想であることも学習し、大牟田の石炭を通じた歴史や偉大さについて理解し、郷土への思いや考えを深めることができた。



第3学年 いのちの授業（11月実施）

〈目標〉福祉学習とキャリア教育を主とした取組を通して、様々な人や地域との関わり、自分の生き方、社会への参画について考える。

〈実践の展開〉

- いのちの誕生やいのちの大切さについて考える。
- 男女交際や妊娠、出産など、性やいのちに関する疑問や悩みを具体的に考え、その内容にそった講座を受ける。

〈生徒たちの様子〉

意欲的に講師の話の話を聞いたり、多くの質問をしたりして、生き生きと受講することができた。具体的ないのちに関することに触れ、自分の生き方を再考察することができた。



4 本年度の成果と課題

○成果

- ・コロナ禍ではあったが、これまでのG Tや地域の人々との関係を継続し、つなげることができた。
- ・各学年とも積極的な活動をして、人との関わりを大切にする姿が見受けられ、異世代の人とのつながりを大切にすることや地域の発展に貢献しようとする行動変容につながった。

○課題

- ・学習をして終わるのではなく、教科や行事との横断的な学習にするため、学びのつながりを大切に、生徒が自ら課題を持ち、主体的に課題解決できるような手立ての工夫が必要である。